

円コース

第54期末(2015年7月21日)	
基準価額	8,932円
純資産総額	8,027百万円
第49期～第54期	
騰落率	4.3%
分配金(税込み)合計	420円

ユーロコース

第54期末(2015年7月21日)	
基準価額	10,105円
純資産総額	33,443百万円
第49期～第54期	
騰落率	4.0%
分配金(税込み)合計	600円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

欧州ハイ・イールド債券 オープン(毎月決算型) 円コース/ユーロコース

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2015年1月20日～2015年7月21日

交付運用報告書

第49期(決算日2015年2月18日) 第52期(決算日2015年5月18日)

第50期(決算日2015年3月18日) 第53期(決算日2015年6月18日)

第51期(決算日2015年4月20日) 第54期(決算日2015年7月21日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型)円コース/ユーロコース」は、このたび、第54期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的にユーロ建て高利回り社債等およびわが国の公社債、短期金融商品に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

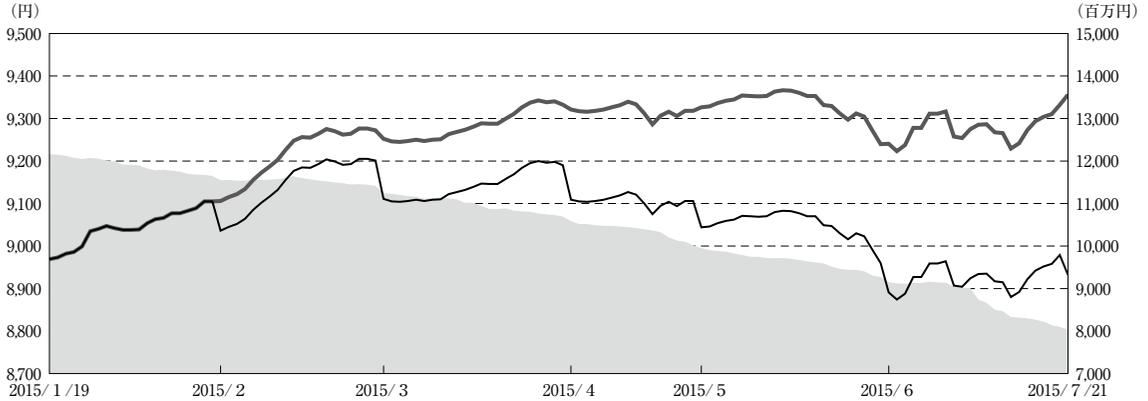


運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2015年1月20日～2015年7月21日）

【円コース】



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) — 純資産総額 (右軸)

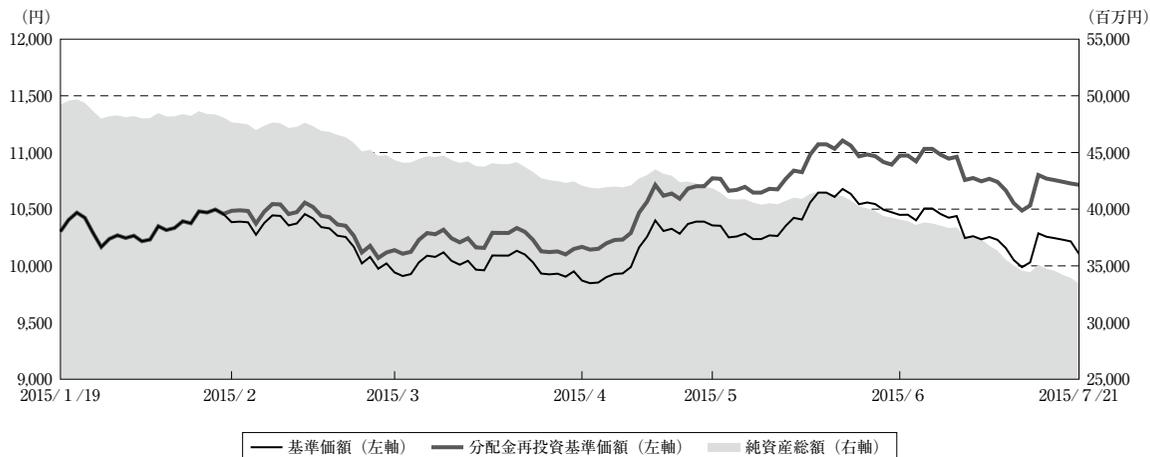
第49期首：8,969円

第54期末：8,932円（既払分配金（税込み）：420円）

騰落率：4.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年1月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【ユーロコース】



第49期首：10,303円

第54期末：10,105円（既払分配金（税込み）：600円）

騰落率： 4.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年1月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円／ユーロ）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・保有債券の高水準な利息収入の獲得がプラスとなりました。また、一部の銘柄選択要因と金利戦略要因がプラスに影響しました。

（主なマイナス要因）

- ・景気改善期待の高まりを受けて国債利回りが急上昇したことなどから、欧州ハイ・イールド社債市場の利回りが上昇（価格は下落）したことがマイナスとなりました。また、ギリシャ情勢に対する懸念などを背景に、リスク資産に対する慎重な見方が広がったことも、マイナスに影響しました。
- ・為替市場においてユーロが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。（ユーロコースのみ）

1 万口当たりの費用明細

(2015年 1 月20日～2015年 7 月21日)

【円コース】

項目	第49期～第54期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 46	% 0.504	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(20)	(0.212)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(25)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.006	(b) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	47	0.510	
作成期間中の平均基準価額は、9,068円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

【ユーロコース】

項目	第49期～第54期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 52	% 0.504	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(22)	(0.216)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(28)	(0.271)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.006	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	53	0.510	
作成期間中の平均基準価額は、10,238円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

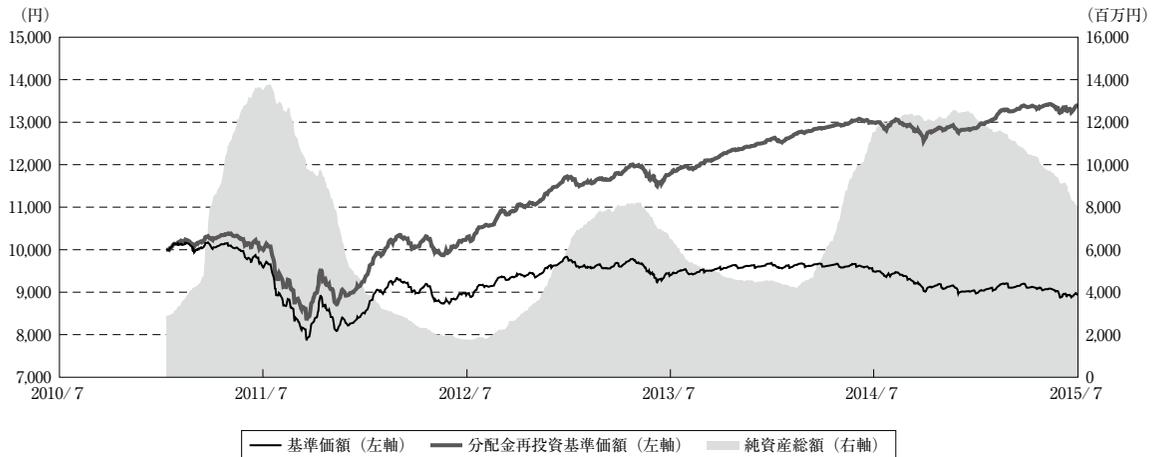
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年7月20日～2015年7月21日）

【円コース】

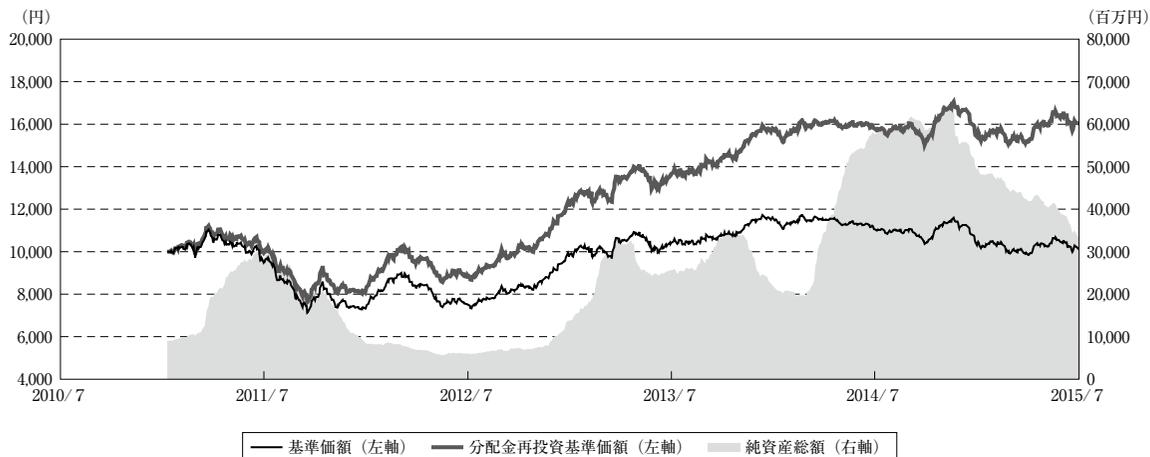


- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2011年1月28日です。

	2011年1月28日 設定日	2011年7月19日 決算日	2012年7月18日 決算日	2013年7月18日 決算日	2014年7月18日 決算日	2015年7月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,595	8,925	9,384	9,493	8,932
期間分配金合計(税込み) (円)	-	420	840	840	840	840
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	0.1	2.4	14.8	10.4	3.2
純資産総額 (百万円)	2,899	13,516	1,771	6,559	11,523	8,027

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2011年7月19日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

【ユーロコース】



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2011年1月28日です。

	2011年1月28日 設定日	2011年7月19日 決算日	2012年7月18日 決算日	2013年7月18日 決算日	2014年7月18日 決算日	2015年7月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,478	7,527	10,359	11,066	10,105
期間分配金合計(税込み) (円)	-	480	960	960	960	1,100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△0.6	△10.4	52.4	16.4	1.4
純資産総額 (百万円)	9,054	28,421	6,045	25,499	57,763	33,443

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2011年7月19日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境

（2015年1月20日～2015年7月21日）

<ユーロ圏の国債市場>

主要指標であるドイツの10年国債利回り（以下、長期金利）は上昇しました。欧州中央銀行（ECB）による量的緩和（QE）実施などを背景に、ドイツ長期金利が低下する場面もありましたが、ユーロ圏のインフレ指標等の改善に伴いデフレ懸念が和らいだことや、景気回復期待の高まりを受けて、4月下旬以降、ドイツ長期金利は上昇しました。ギリシャと国際債権団との債務交渉が難航したことなどは、欧州周縁国の長期金利の上昇要因となりました。

<欧州ハイ・イールド社債市場>

ECBの強力な金融緩和策に伴った市場への資金流入等に支えられましたが、ユーロ圏の国債利回りが上昇した影響を受けて、欧州ハイ・イールド社債市場の利回りが小幅上昇しました。ギリシャ情勢に対する懸念が高まる局面もありましたが、国債との利回り差（スプレッド）はほぼ横ばいとなりました。

<為替市場>

当作成期間においては、ユーロが対円で下落しました。ECBの国債買い入れによる量的緩和策の実施が決定されたことに加え、ギリシャと国際債権団との債務交渉が予想以上に難航したことなどを背景に、円高・ユーロ安の展開が優勢となりました。

<国内短期金融市場>

短期の国債は、マイナスを含む低位での利回り推移となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2015年1月20日～2015年7月21日）

<円コース>

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）」につきましては、組入比率を高位に維持しました。

<ユーロコース>

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）」につきましては、組入比率を高位に維持しました。

○DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円、ユーロ）

国別の運用状況につきましては、経済回復の相対的に堅調な国の企業を中心に組み入れました。主要国であるイギリス、ドイツ、フランスなどを高めとしています。セクター別では、グローバルに展開している企業が多く見られるサービスセクターのほか、ディフェンシブ性の高い電気通信セクターを高めの配分としました。自動車セクターや金融セクターにつきましては、低めの配分に抑えました。格付け別では、相対的に割安感が見られるB格の債券を中心に組み入れました。また、相場が弱含んだ局面では割安感の出た既発債を購入する一方、相場の上昇局面においては一部で利益確定のための売却を行いました。発行市場での供給も旺盛であったことから、新発債の購入も実施しました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

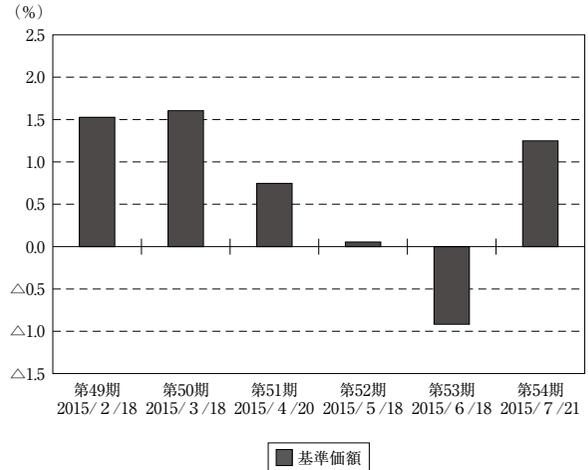
わが国の公社債、および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2015年1月20日～2015年7月21日）

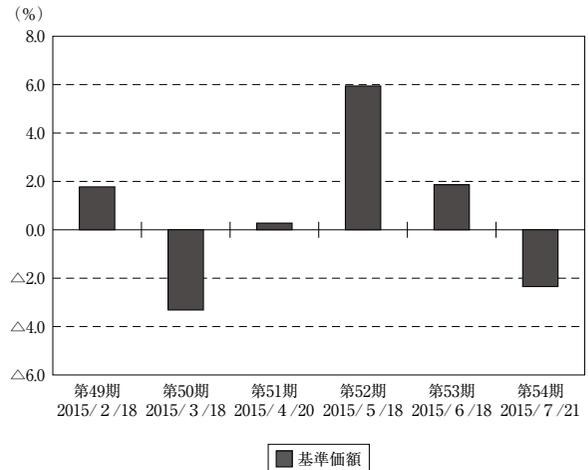
【円コース】

当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。右記のグラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



【ユーロコース】

当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。右記のグラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2015年1月20日～2015年7月21日）

分配対象収益は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、「円コース」が第49期から第54期の決算期に、それぞれ1万口当たり70円（税込み）、合計420円の収益分配を行いました。「ユーロコース」は第49期から第54期の決算期に、それぞれ1万口当たり100円（税込み）、合計600円の収益分配を行いました。なお、両ファンドともに、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

【円コース】

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2015年1月20日～ 2015年2月18日	2015年2月19日～ 2015年3月18日	2015年3月19日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月18日	2015年5月19日～ 2015年6月18日	2015年6月19日～ 2015年7月21日
当期分配金	70	70	70	70	70	70
（対基準価額比率）	0.769%	0.762%	0.763%	0.768%	0.781%	0.778%
当期の収益	70	70	70	70	70	70
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	2,324	2,388	2,451	2,517	2,583	2,651

【ユーロコース】

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2015年1月20日～ 2015年2月18日	2015年2月19日～ 2015年3月18日	2015年3月19日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月18日	2015年5月19日～ 2015年6月18日	2015年6月19日～ 2015年7月21日
当期分配金	100	100	100	100	100	100
（対基準価額比率）	0.954%	0.996%	1.003%	0.956%	0.948%	0.980%
当期の収益	100	100	100	100	100	100
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	3,727	3,738	3,748	3,766	3,781	3,793

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

○DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円、ユーロ）

（投資環境の見通し）

欧州ではドイツを中心に良好な経済指標が確認されており、インフレ関連指標も底入れしていますが、ECBによる強力な金融緩和策の継続や今後の動向も含め、当面は低金利環境が継続することが見込まれます。また、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学的リスクも残存し、ギリシャ政府と欧州連合（EU）等との金融支援に関連した協議は今後も継続する見込みで、目先の景気回復に伴う金利上昇はある程度抑えられるものと見ています。欧州ハイ・イールド社債市場については、ECBの金融緩和策に伴った低金利環境の継続や、相対的に高い利回りに着目した投資家の資金流入が見込まれ、長期的には底堅く推移すると考えています。為替市場では、日銀の強力な金融緩和策の継続を背景に、長期的に円安基調が続くと見ています。一方、当面はECBのQE導入がユーロの上値を抑える要因になると考えています。

（運用方針）

引き続きグローバルに展開する企業の多いサービスや小売などのセクターのほか、ディフェンシブ性の高い電気通信サービスなどのセクターを中心に投資を行い、自動車、資本財セクターへの配分は抑える予定です。格付け別では、相対的に割安感が見られるB格の債券を中心に組み入れる方針です。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

（投資環境の見通し）

日銀の金融緩和スタンスを背景に、低金利環境が続く見通しです。

（運用方針）

わが国の公社債、および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

お知らせ

【円コース】 / 【ユーロコース】

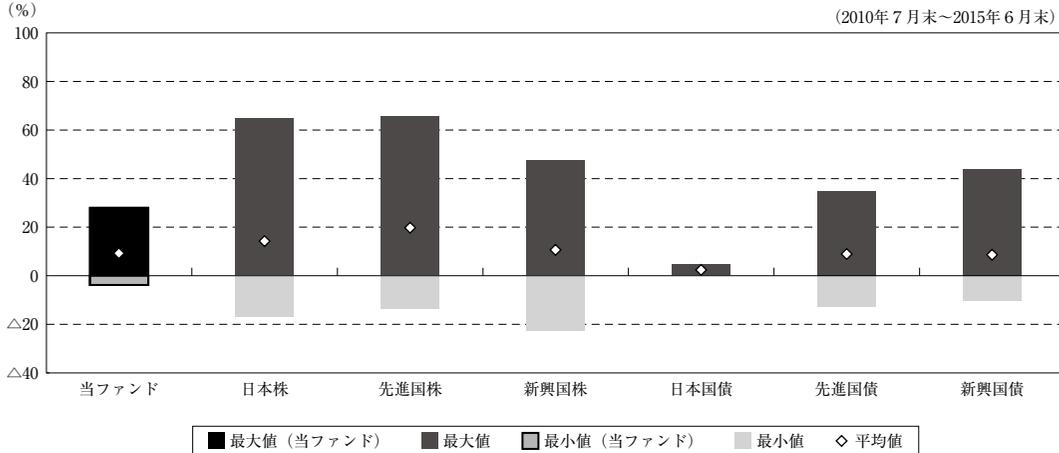
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
- ①運用企画部の新設
 - ②投資調査部を投資情報部に改称
 - ③運用各部を投資対象資産別に再編
 - ④トレーディング部を運用本部から分離

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2011年1月28日から2021年1月18日までです。
運用方針	各ファンドは主として投資信託証券への投資を通じて、実質的にユーロ建て高利回り社債（「ハイ・イールド債券」といいます。）等およびわが国の公社債、短期金融商品へ投資を行います。
主要投資対象	円コース、ユーロコースは、ルクセンブルク籍の円建て外国投資信託証券および親投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①円コースは、次の投資信託証券に投資します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円） （ユーロ建て資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。） ・マネー・リクイディティ・マザーファンド <p>②ユーロコースは、次の投資信託証券に投資します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ） （ユーロ建て資産については、為替ヘッジを行いません。） ・マネー・リクイディティ・マザーファンド <p>※DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドは、主に欧州諸国のユーロ建てのハイ・イールド債券等への投資を通じて、インカム・ゲインの獲得と資産の成長を目指して運用を行います。ユーロ建て以外のハイ・イールド債券等へ投資を行った場合、原則として対ユーロで為替ヘッジを行います。</p>
分配方針	<p>毎月18日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>繰越分を含めた配当等収益には、マネー・リクイディティ・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較
【円コース】



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	28.0	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△3.8	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	9.3	14.2	19.7	10.6	2.4	8.9	8.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年7月から2015年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2012年1月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

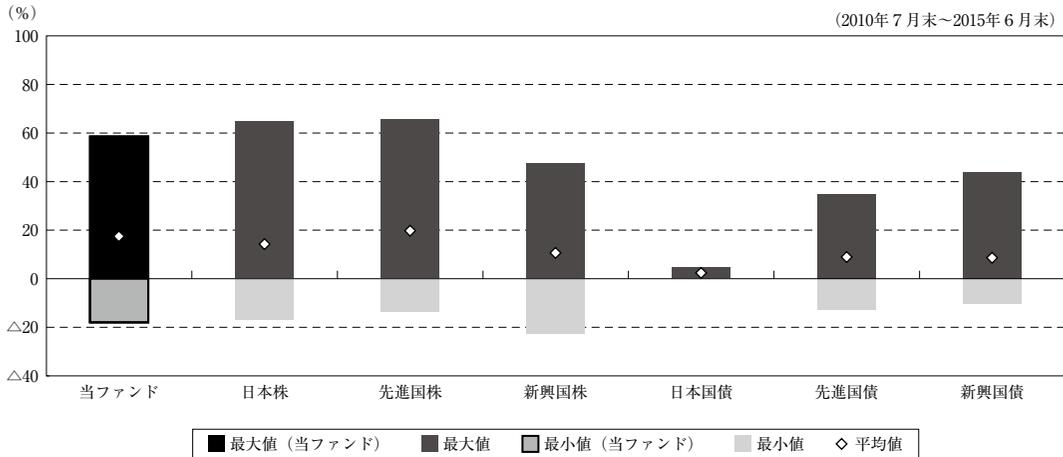
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・デリバティブ（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

【ユーロコース】



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	58.6	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△17.9	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	17.4	14.2	19.7	10.6	2.4	8.9	8.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年7月から2015年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2012年1月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年7月21日現在)

【円コース】

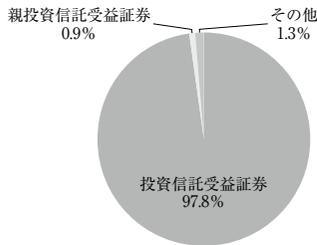
○組入上位ファンド

銘柄名	第54期末
DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(円)	97.8%
マネー・リクイディティ・マザーファンド	0.9%
組入銘柄数	2銘柄

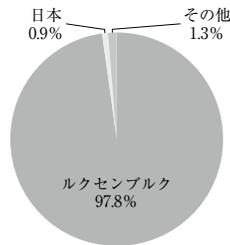
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

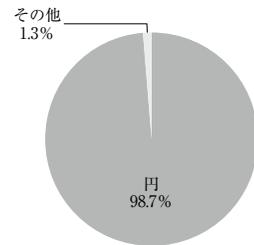
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末	第54期末
	2015年2月18日	2015年3月18日	2015年4月20日	2015年5月18日	2015年6月18日	2015年7月21日
純資産総額	11,549,906,072円	11,248,385,655円	10,585,512,618円	9,950,386,570円	9,153,380,566円	8,027,019,800円
受益権総口数	12,781,751,935口	12,345,788,016口	11,621,392,437口	11,001,640,304口	10,294,936,461口	8,986,413,839口
1万円当たり基準価額	9,036円	9,111円	9,109円	9,044円	8,891円	8,932円

* 作成期間中における追加設定元本額は438,610,313円、同解約元本額は5,011,899,477円です。

【ユーロコース】

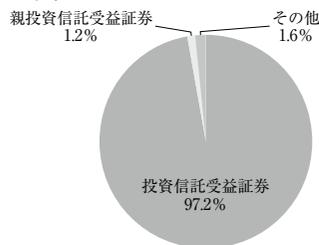
○組入上位ファンド

銘柄名	第54期末
DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ユーロ)	97.2%
マネー・リクイディティ・マザーファンド	1.2%
組入銘柄数	2銘柄

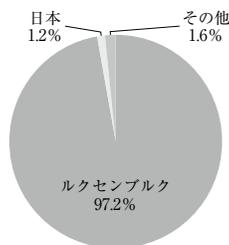
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

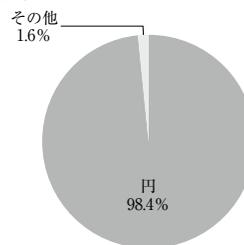
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末	第54期末
	2015年2月18日	2015年3月18日	2015年4月20日	2015年5月18日	2015年6月18日	2015年7月21日
純資産総額	47,668,356,558円	44,326,998,201円	42,075,823,990円	41,848,329,755円	39,084,940,116円	33,443,097,210円
受益権総口数	45,896,737,511口	44,584,148,930口	42,629,933,582口	40,407,022,706口	37,400,911,588口	33,096,977,643口
1万口当たり基準価額	10,386円	9,942円	9,870円	10,357円	10,450円	10,105円

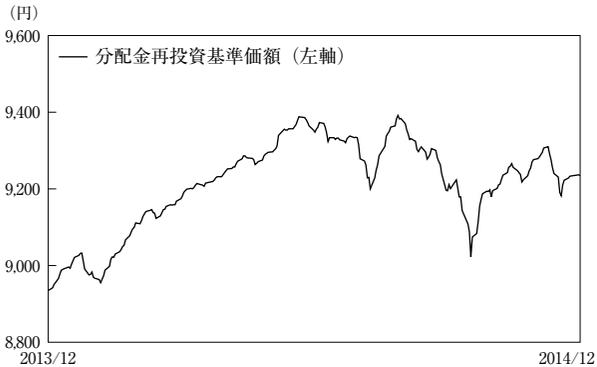
* 作成期間中における追加設定元本額は3,363,160,337円、同解約元本額は18,046,443,171円です。

組入上位ファンドの概要

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）

※DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドの運用会社であるドイチェ・アセット&ウェルス・マネジメント・インベストメントGmbHから入手したデータをもとに、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年1月1日～2014年12月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報が
がないため、開示できません。

【組入上位10銘柄】

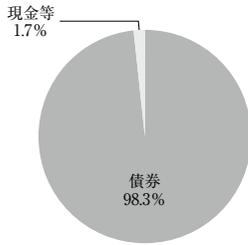
(2014年12月31日現在)

	銘柄名	業種／種別	通貨	国名	比率 %
1	Matterhorn Mobile SA -Reg-2012/2019	電気通信サービス／社債	スイス・フラン	スイス	1.7
2	Barclays Plc 2014/2049	銀行／社債	ユーロ	イギリス	1.6
3	FTE Verwaltungs GmbH 2013/2020	自動車／社債	ユーロ	ドイツ	1.3
4	Unitymedia Hessen GmbH & Co., KG-Reg-2012/2019	メディア／社債	ユーロ	ドイツ	1.3
5	HT1 Funding GmbH 2006/2049	銀行／社債	ユーロ	ドイツ	1.3
6	HomeVi SAS -Reg-2014/2021	ヘルスケア／社債	ユーロ	フランス	1.2
7	GHD Bondco Plc -Reg-2014/2020	消費財／社債	イギリス・ポンド	イギリス	1.2
8	LGE HoldCo VI BV -Reg-2014/2024	メディア／社債	ユーロ	オランダ	1.1
9	Huntsman International LLC 2014/2021	素材／社債	ユーロ	アメリカ	1.1
10	THOM Europe SAS -Reg-2014/2019	小売／社債	ユーロ	フランス	1.1
	組入銘柄数	279銘柄			

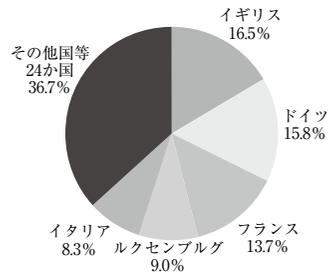
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

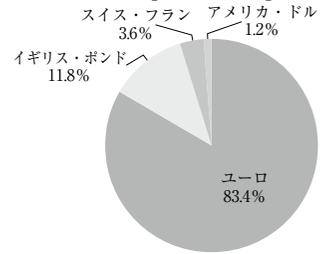
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

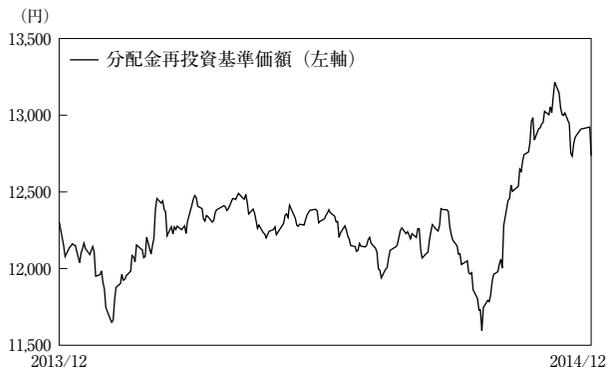
(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

組入上位ファンドの概要

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）

※DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドの運用会社であるドイチェ・アセット&ウェルス・マネジメント・インベストメントGmbHから入手したデータをもとに、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年1月1日～2014年12月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

【組入上位10銘柄】

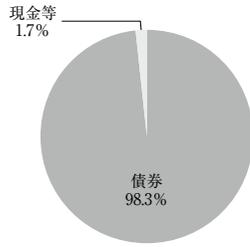
(2014年12月31日現在)

	銘柄名	業種／種別	通貨	国名	比率
					%
1	Matterhorn Mobile SA -Reg-2012/2019	電気通信サービス／社債	スイス・フラン	スイス	1.7
2	Barclays Plc 2014/2049	銀行／社債	ユーロ	イギリス	1.6
3	FTE Verwaltungs GmbH 2013/2020	自動車／社債	ユーロ	ドイツ	1.3
4	Unitymedia Hessen GmbH & Co., KG-Reg-2012/2019	メディア／社債	ユーロ	ドイツ	1.3
5	HT1 Funding GmbH 2006/2049	銀行／社債	ユーロ	ドイツ	1.3
6	HomeVi SAS -Reg-2014/2021	ヘルスケア／社債	ユーロ	フランス	1.2
7	GHD Bondco Plc -Reg-2014/2020	消費財／社債	イギリス・ポンド	イギリス	1.2
8	LGE HoldCo VI BV -Reg-2014/2024	メディア／社債	ユーロ	オランダ	1.1
9	Huntsman International LLC 2014/2021	素材／社債	ユーロ	アメリカ	1.1
10	THOM Europe SAS -Reg-2014/2019	小売／社債	ユーロ	フランス	1.1
	組入銘柄数		279銘柄		

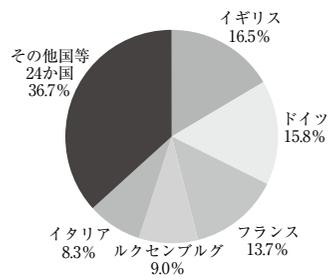
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

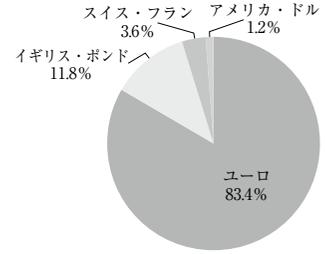
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

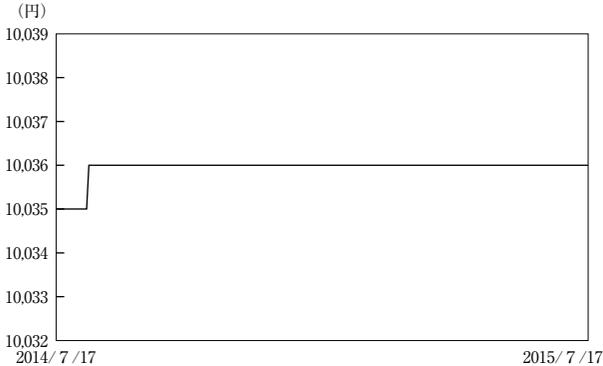
(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

組入上位ファンドの概要

マネー・リクイディティ・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年7月18日～2015年7月17日)
 当ファンドには、信託報酬はありません。
 また、当期において有価証券の売買委託手数料、保管費用等の費用は発生していません。

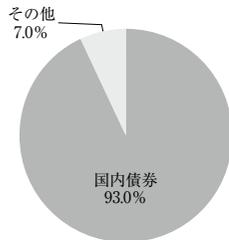
【組入上位10銘柄】

(2015年7月17日現在)

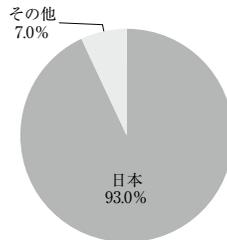
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第93回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	24.3%
2 第336回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	19.3%
3 第95回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	14.7%
4 第541回国庫短期証券	国債証券	円	日本	9.6%
5 第494回国庫短期証券	国債証券	円	日本	7.7%
6 第536回国庫短期証券	国債証券	円	日本	7.7%
7 第534回国庫短期証券	国債証券	円	日本	5.8%
8 第96回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	1.9%
9 第540回国庫短期証券	国債証券	円	日本	1.9%
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数		9銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

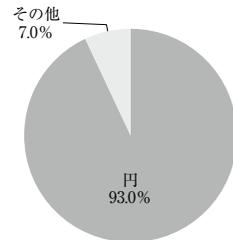
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。
なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。